

茨城県第 4 採択地区教科用図書選定協議会

会長 鈴木 由美

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
音楽 (一般)	27 教芸 中学生の音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽を愛好する心情を育てるために、オリジナルの新曲や親しみやすい楽曲が多く掲載されている。 ○ 歌唱・創作・鑑賞の三つの活動に分けて題材が設定され、ねらいが明確に示されていることにより、幅広く音楽の学習ができるように配慮されている。 ○ 日本の伝統的な音楽や諸外国の民族音楽など学年に応じて幅広く学習できる教材が掲載され、それに関する資料や鑑賞するときのポイントもわかりやすく明示され、音楽文化への理解が深まるよう配慮されている。 ○ ゲーム形式の活動を用いて、小学校の学習内容を含む前学年までの復習を兼ねた音楽用語等の基礎的な内容を楽しみながら学習できるように工夫されている。 ○ 音楽を形づくっている要素がポイントとして示されており、生徒の思考・判断を促す活動に取り組みやすいように工夫されている。 ○ 「グレードアップ」コーナーによって、段階的に発展的学習に取り組める。また、話し合うポイントが示されているので、生徒間の学び合い活動が深まりやすい。 ○ 義務教育 9 年間を見通し、小学校で学習した内容を系統的に発展させて学習することができるように配慮され、基礎的な知識や技能の習得が図れるような特色がある。 ○ 色覚特性や特別支援教育の視点から学習上重要な情報が確実に読み取れるように配慮されている。楽譜が見開きで表示され見やすい。

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
音楽 (器楽合奏)	27 教芸 中学生の器楽	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体を通して段階的に無理のない教材が配列され、アルトリコーダの奏法では、奏法などに応じた楽曲で基礎的な技能の習得を図ることができるように配慮されている。 ○ 学習の導入に鑑賞が位置付けられ、その楽器の音色や響きを感じ取れるよう配慮されている。 ○ Q & A を用いて、よりよい演奏にするためのポイントを示し、主体的に学習活動に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 一般（音楽）の教科書と色分けしてあるので、視覚的にも区別がつけやすくなっている。